

### §2.3.1 欠損値の置換 – 同一の変数への値の再割り当て –

他の変数への値の再割り当ては、新しい変数に再割り当ての結果を書き込みますが、同一の変数への値の再割り当てを使用すると、元の変数を新しい値で上書きすることができます。

**Lesson2.sav**データファイルに含まれる**smoke**(喫煙)は、喫煙ありの場合は**1**が記録されていますが、喫煙なしの場合は**システム欠損値**(未入力)として定義されています。欠損ケースは分析やグラフから除外されてしまうため、喫煙なしのセルには**0**を入力しておかなければなりません。そこで、元の変数の値を指定した値で上書きする**同一の変数への値の再割り当て**機能を用いて、**smoke**の欠損値を**0**に置き換えます。

The screenshot shows the IBM SPSS Statistics Data Editor window for 'Lesson2.sav'. The 'smoke' variable column is highlighted in yellow, and the missing values (represented by a red question mark) are being replaced with the value '0'. The data table is as follows:

	id	gender	age	smoke	score	軽症	中等症	var
1	1	男	20	1	軽症	1.00	.00	
2	2	男	25	.	軽症	1.00	.00	
3	3		19	.	重症	.00	.00	
4	4	女	19	.	中等症	.00	1.00	
5	5	女	26	1	中等症	.00	1.00	
6	6	男	24	.	軽症	1.00	.00	
7	7	女	17	1	軽症	1.00	.00	
8	8		20	.	軽症	1.00	.00	
9	9	男	46	.	重症	.00	.00	
10	10	男	44	.	中等症	.00	1.00	
11	11	男	46	.	軽症	1.00	.00	
12	12	男	46	.	軽症	1.00	.00	

Figure2.3.1 Lesson2.savデータファイルに含まれる変数smoke

## 操作手順

1. 変換メニュー > 同一の変数への値の再割り当てを選択します。

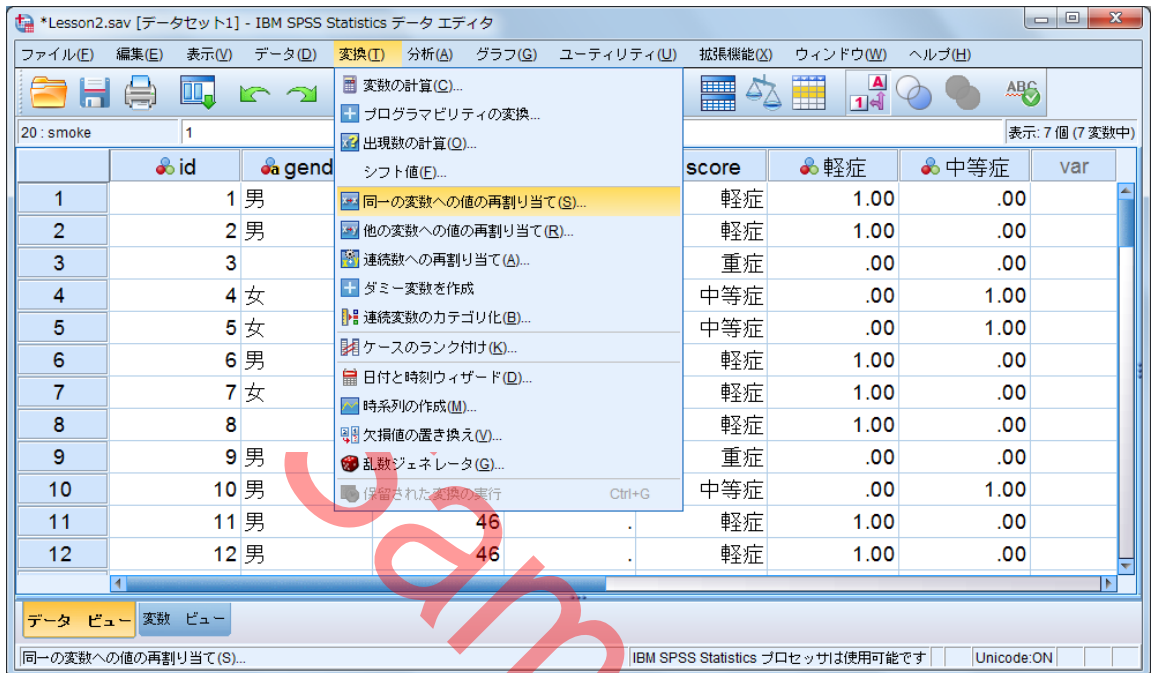


Figure2.3.2 同一の変数への値の再割り当て

## POINT

同一の変数への値の再割り当ては、元の変数が再割り当て後の値で上書きされることになります。元の変数を上書きせずに残しておきたい場合は、他の変数への値の再割り当てを使用して下さい。

## 操作手順

2. 変数の一覧から **smoke** を **数値型変数** ボックスに移動します。

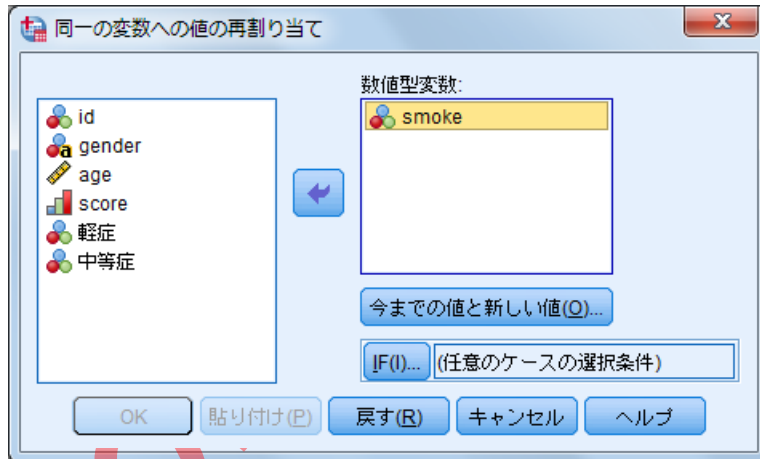


Figure2.3.3 同一の変数への値の再割り当てダイアログボックス

変数のリストには複数の変数を一度に指定することができます。値の再割り当ての定義を行うためには、**今までの値と新しい値** ボタンを使用します。

## POINT

該当するすべての変数の欠損値を0に置き換えたい場合など、今までの値と新しい値の内容が同一であれば、複数の変数を同時に指定することも可能です。

## 操作手順

3. **今までの値と新しい値** ボタンをクリックします。

今までの値と対応する新しい値を定義します。この例では、**smoke**のシステム欠損値を**0**に置き換えるように指定します。

### 操作手順

4. **今までの値**の**システム欠損値**を選択します。
5. **新しい値**のテキストボックスに**0**と入力します。

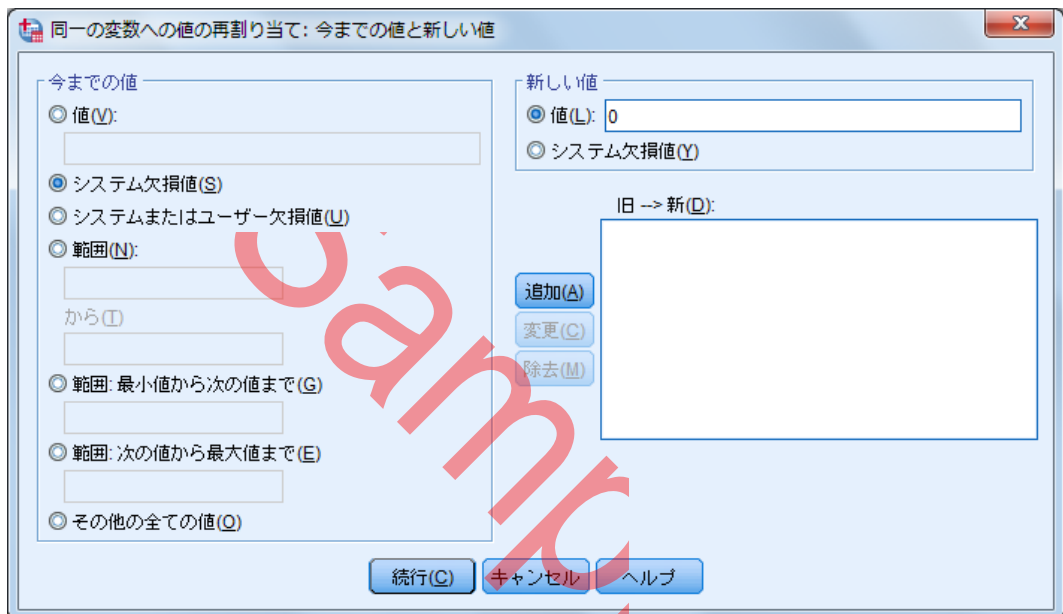


Figure2.3.4 同一の変数への値の再割り当て : 今までの値と新しい値

### TIPS

欠損値には、**システム欠損値**と**ユーザー欠損値**の2種類があります。システム欠損値は値の未入力による欠損値、ユーザー欠損値は変数ビューでユーザーが指定した欠損値(99:不明、など)を意味します。

指定した値は、**追加**ボタンをクリックすることで確定します。

## 操作手順

6. **追加**ボタンをクリックします。
7. **続行**ボタンをクリックします。

以上で、**smoke**の欠損値を0に置き換える設定が完了しました。

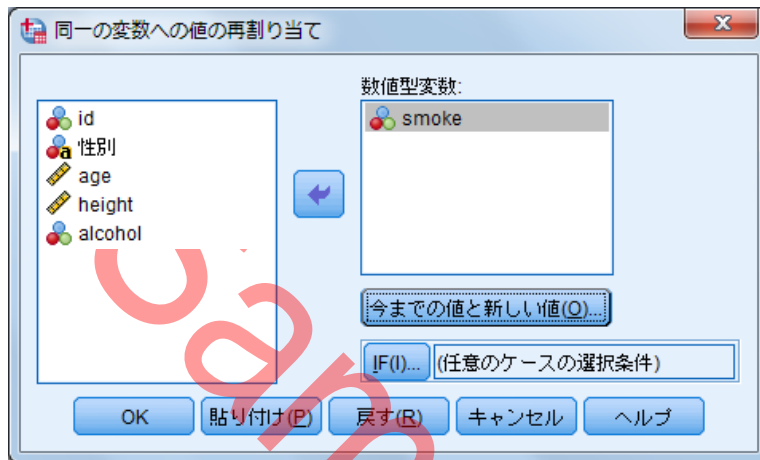


Figure2.3.5 同一の変数への値の再割り当てダイアログボックス

## TIPS

値の再割り当てに条件を設定する場合は、**IF**ボタンを使用します。例えば、男性の場合だけ値の置換を行うような処理が可能です。

## 操作手順

8. **OK**ボタンをクリックします。

同一の変数への値の再割り当てが実行され、**smoke**の欠損値が**0**に置き換えられました。

	id	gender	age	smoke	score	軽症	中等症	var
1	1	男	20	1	軽症	1.00	.00	
2	2	男	25	0	軽症	1.00	.00	
3	3		19	0	重症	.00	.00	
4	4	女	19	0	中等症	.00	1.00	
5	5	女	26	1	中等症	.00	1.00	
6	6	男	24	0	軽症	1.00	.00	
7	7	女	17	1	軽症	1.00	.00	
8	8		20	0	軽症	1.00	.00	
9	9	男	46	0	重症	.00	.00	
10	10	男	44	0	中等症	.00	1.00	
11	11	男	46	0	軽症	1.00	.00	
12	12	男	46	0	軽症	1.00	.00	

Figure2.3.6 値の再割り当てによって欠損値を0に置き換えたsmoke

## POINT

同一の変数への値の再割り当てを使用することで、既存の変数の値を指定した新しい値やシステム欠損値などに置き換えることができます。